

川とダムと暮らし



カスリーン台風で町の大半が水没した尾島町役場付近(昭和22年)



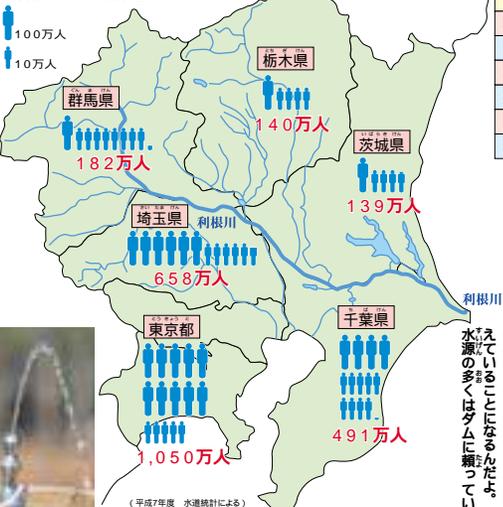
ダムって何だろっ? どんないろんなことをしてるんだろっ?!

ダムがなかった頃は台風で大きな災害が起きたんだ。

みんなが生きている前のことなだけで、昭和十二年九月十日、カスリーン台風と命を奪った大きな台風が日本に上陸。とても多くの雨が降り、埼玉県で利根川の堤防がこわれてしまった。その影響で、埼玉県東部の町村をのみみながら、東京の下町一帯をも水没させてしまった。利根川の水があふれると、その水は東京にまで押し寄せてしまっただよ。群馬県でも大きな被害があり、多の家が流されたり、多くの人が死んでしまったんだ。

利根川をはじめ、日本の川は短くて流れが急なので、大雨が降ると一度にたくさんの水が流れてしまい、川があふれて家や田んぼが水びたしにな

利根川からの給水区域



カスリーン台風による群馬県内の被害状況

流出	1,936戸
倒壊家屋	1,948戸
半壊家屋	70,957戸
家屋の浸水	592名
死者	107名
行方不明	315名
罹者	315名

(群馬県調査資料より)

大雨が降ったときに、必要な水を必要とときに使えるように、ダムにためておいた水をこぼした水をこぼして、毎日の暮らしに困らないようにしているんだ。



利根川は関東地方の飲み水を支えているんだ。

利根川は群馬県と新潟県の県境にある大水上山を水源とし、関東平野を流れ太平洋に注いでいるたいへん大きな川なんだ。流域面積(川に水が流れる面積)は日本で二番、川の長さも日本で二番目の長さなんだよ。

みんなが生きているところで使われているのは、利根川の水なんだ。この水は群馬県だけでなく、栃木県、茨城県、埼玉県、千葉県、それに東京都の人たちも飲んでいるんだ。なんと、日本の総人口の約四分の一の人たちが飲む水を利根川の水が支えていることになるんだよ。そして、水道用水の水源の多くはダムに頼っているんだ。

群馬県には、どんなところにダムがあるの?



国土交通省関東地方整備局利根川ダム総合管理事務所